



大分県立芸術文化短期大学  
国際総合学科 通信

GLOBAL GAZETTE

Spring, 2014

平成 25 年度卒業式 (3 月 24 日)

国際文化学科 77 名が卒業しました！！



国際文化学科の成績優秀者 3 名が、  
賞状と記念品を授与されました！！



石井 佳帆さん

おめでとうございます



川崎 理紗子さん



宗像 祥司さん

2/5~2/6 に行われた卒業研究発表会では、2 年生の皆さんが 1 年間の研究の成果を発表しました。

卒研発表では、これまで学んだ知識をフルに発揮できていました。植村ゼミでは、ともに学ぶというよりは、ともに競い合うように、毎回のゼミを経験してきたように思います。学ぶほど理解が深まる、実践的で洗練された経済の知識を、頭で整理するのにいつも必死でした。しかし、そんな私たちだからこそ、大きな知識のベースの上で、まちづくりから国際関係まで幅広く、関心ある分野の研究発表が行えました。植村先生をはじめ、ともに競い合ったゼミの皆に感謝しています。



安藤 達哉

中国・江漢大学からの留学生が、1 年間の留学期間を無事修了しました。



2013 年 4 月から国際総合学科で勉強していた中国・江漢大学の留学生、石美さん、周雅晶さん、陳姝媚さんの 3 名が、1 年間の留学期間を無事終了しました。

国際文化学科・国際総合学科の学生とともに教室で学ぶだけでなく、鹿児島での世界史ゼミ研修旅行にも参加するなど、日本での学生生活を満喫しました。1 月 29 日には、チューター担当の学生や国際総合学科教員も交えてお別れ会を行い、思い出話に花が咲きました。

芸短での体験が 3 名の未来に役立つことを、心より祈願します。  
世界史研ゼミ 疇谷憲洋 准教授



中国江漢大学より着任した周鳴准教授の辞令交付式を執り行いました。

3 月 3 日、中国江漢大学より着任した周鳴准教授の辞令交付式を執り行いました。本学は、中国・武漢市にある江漢大学と交流協定を結んでいます。平成 25 年度に教鞭をとられ、期間満了により江漢大学へ帰学された常梅先生に続き、周鳴准教授が着任されました。周鳴准教授は「中国研究」で中国語をメインに、中国文化や社会について講義を行います。





### 韓国語学実習を実施しました。

今回、春・韓国語学実習は、数多くの韓流スターや作家を輩出し、韓流文化の拡散にも多大な貢献をしている

韓国の私立名門校である東国大学校・韓国語教育センター(於、ソウル)において行いました。2月10日~2月28日まで、午前は韓国語の授業、午後は韓国の様々な文化が体験できる文化授業というプログラムで実施しました。

韓国研究ゼミ 朴貞蘭 専任講師

### 参加学生レポート

今回の韓国語学実習は私にとって、とても有意義な3週間になりました。学校は東国大学で、授業では少人数制でSpeakingが主でした。授業の雰囲気は明るく、先生も優しく質問もしやすかったので、韓国語のみの授業でしたが、とてもわかりやすかったです。休み時間になっても先生とみんなで韓国語を使って会話していたので、楽しく韓国語が身に付きました。また、日本では毎日韓国語を話す習慣がなかったので、とても良い経験になりました。さらに、様々な文化体験もあったので、語学だけではなく文化理解もすることができ、とても内容の濃い3週間になりました。今回の実習に参加して本当に良かったと思いました。韓国での出会いや学んだことを大切にしながら、これからも韓国語の勉強をがんばりたいと思います。

里谷 真理子



この語学実習は私にとって初めての海外だったのでとても楽しみでした。韓国語は大学で学んでいましたが、まったく喋れないに等しかったので、3週間もやっていけるかなという不安もありました。現地での韓国語の授業はすべて韓国語で行われたので、3時間という短い時間でもすごく疲れました。しかし、母国語が使えない状況で外国語を学ぶのはとても自分の為になったと感じます。とても良い経験でした。授業のほかにも、ソ



ウルタワーや韓国の昔からある建物訪問、キムチ作り、伝統楽器など韓国ならではの経験ができてとても楽しかったです。特に、チマチョゴリを着ることができたことが本当に嬉しかったです。また、授業後や休日には自分たちの行きたい場所に行って買い物などをして、とても楽しかったです。この韓国語学実習は私にとってかけがえのない思い出になりました。

本田 楓

### 海外語学実習&海外ボランティア実習 in アメリカ

From February 10 to March 7, seven students went to the University of California at Davis to study English and participate in volunteer activities.

アメリカ研究ゼミ Julie Nootbaar 准教授

### 参加学生レポート

これから先このような貴重な体験ができる機会はないと思い、参加しました。最初は不安しかありませんでしたが、



ホストファミリーや先生、現地の学生たちのおかげで、少しずつ不安がなくなりました。老人ホームのボランティアの実習で折り紙を一緒に作ったときに、手を握り喜んでくれて、うれしかったです。週末はヨセミテ国立公園やディズニーランド、ハリウッドなどいろんな場所を友だちと楽しく観光でき、友だちとの仲がさらに深まりました。言葉が通じなかったり、理解できなかったりとたくさん苦労しましたが、文化の違いなど多くのことを学べ、よい経験になりました。

真田実和



今回、あまり親しくない7人の参加者でしたが、お互いに助け合いながら、自然と仲良くなりました。ホームステイでの生活は、ホストファミリーも優しく、本当の家族のようでした。

ディズニーランドも、ヨセミテも、参加してほんとうによかったです。学校でも、日本ではないような、インタビューをして、新聞を作る授業などがありました。話しかけるのには勇気がいったけど、デービスの人々は very kind で何度も助けてもらいました。アメリカでのボランティア活動は本当に貴重な経験になりました。日本は、ボランティア精神がないとは言いませんが、アメリカ人に比べるとまだまだ関心が低いと思います。長い間、無給で奉仕を続けている人を見て、本当にすごいことだと思いました。ホームレスの支援施設や学校のガーデニング、老人ホーム訪問などしましたが、どれも楽しかったです。学校だけでは、話すことがなかったお年寄りや、折り紙をしたり、歌を歌ったりと様々な体験をすることができました。アメリカは楽しかったので、日本に帰ってきた今、刺激がたりません。また絶対アメリカに行きたいです。

後藤夢叶

